

2017. 12月
最終号

銀の汗

sweat of silver



A面

鹿児島初UN施工・特別養護ホーム2,700㎡



そびえ立つ山々に囲まれた特別養護老人ホーム



九州NKマテリアルの倉富OP
お客様との折衝もすでに一人前です！



攪拌済みのウレタンを運びます



左手: 監督さんUN興味津々
何㎡からメリットあるの？と質問あり



初UN施工(株)ジュシカの皆さん「その気になれば1日2,700㎡可能
また絶対使います！」と言って頂きました。



NKマテリアル大分の葛城さんも応援に



屋上風景: Befor(前)



屋上風景: after(後)



ドラム15セット: 都合ドラム45缶使用

2017年11/1 鹿児島空港に初めて降り立った本社の曽根OPは迎えのNKマテリアル倉富OPを懸命に探し混雑するゲートをくぐり倉富OPと再会した、11/2 現場初日まさかの雨が降りカップガがあり11:00スタート、地上ではぬかるみと格闘 11/3 雨で途中中断 11/4 ビハインド分をカバーする為10:00スタート10L出しで止めずに15:30まで施工、パテパテ気味の職人さんも「楽で、早くてビックリ」の感想でむかえた、11/5最終日、職人さんもUNに慣れて「UNだと1日2700㎡できるっちゃ」と笑顔がはじけました。

思えば

- 2015年1月(銀の汗25号) 化研G九州のNKマテリアル倉富会長がUNマシンの現場見学にこられ作業服に着替えUN使用現場の声を自ら聞き、九州でのUNマシン展開をかけたいと熱く語られました。
- 2016年4月(銀の汗40号) フェリーでUNマシンを運び、初のUN施工を大分で行い、その後4業者12名を集めてのUN説明会を開催。
- 2017年2月(銀の汗50号) 博多の香椎小学校2000㎡の施工がありフェリーで再び九州の地にオペレーターは向かいましたその頃から、九州のUNマシン6号機の製作が本格的にスタート。
- 2017年4月(銀の汗52号) 6号機完成を控え東京の現場で密度の濃いオペレーター研修がスタート。
- 2017年5月(銀の汗53号) 東京の大日本印刷にて6号機の初施工を行い、倉富OPお客様から「九州でも頑張ってるね」と激励を受け。
- 2017年6月(銀の汗54号) さっそく九州第1号の現場が出、最終調整を終えた6号車を松田OPがフェリーで運び共に施工。
- 2017年8月(銀の汗56号) 初施工を見た(54号)お客様からは是非使いたいと宮崎に石川OPが向かい3ヶ月ぶりの倉富OPとの再開をはたし、無事施工を終え。あわせてリノハピア様の楽マシンのオペレーター受け入れ教育もスタート。

2017年7/19日NKマテリアルさまは独自にUNマシンの勉強会を企画し鳥栖市JAさがグリーンパレスで40名が参加し地域の新聞にも掲載され、その中から、このたびの鹿児島現場へと繋がっていきました。

「UNマシンを武器にしてサラセーヌを拡販するぞ！」

「おう！」「よかと」「どぎゃんとせんといかん」「ぼってん、うまかつちゃん」「長崎チャンポンリンガーハット」など 様々な声が飛び交い

今、九州は、武器としてUNマシン活用の先駆を切ろうとしています。この展開を最大限支援推進する事が出来るのが当社の強みです
全国制覇の魁 九州に負けないように、本隊UNチームも全国制覇、全国攪拌に更に邁進致します！！

2017. 12月
最終号

銀の汗 *sweat of silver*



B面

さらば、銀の汗 頂きを目指せ



見事に燃えた UNマシン1号機 2005年1月

それは、マシンの火災から始まった。

今から13年前の2004年7月化研マテリアルとしてウレタン圧送UNマシンの部隊を立ち上げた。これからは機械化の時代だと鳴り物入りでUNチームが立ち上がった。今は居ない初代オペレーターは痺れるほどスゴかった。現場にホースを吊り下げたまま帰ったり、現場に行かなかったり、最後は入れてはいけない所にシンナーを循環させ1号機を燃やしてしまう猛者だった。わずか6ヶ月でUN鳴り物入りからお蔵入りへ、見事な立ち上げだった。AGCのUN開発者の目に涙、そして なんちゃってUNマシンブランドが確立した日となった。その後の、ドタバタ クレーム 現場での土下座謝罪等々、歴代の責任者は創業の苦労を味わった。共に苦労を分かちハマリ合おうと言う事で2013年7月営業推進部に異動、まず初めにUN現場施工に立会い最後にお客様が屋上から降り無線機を片手に、「ありがとう、助かったよ」の現場の声を聴いた、そのとき、このビジネスはぜったいイケル〜 お客様から、ありがとうと言って頂けるなんて〜 共々ありがとうを増やそう と考え2014年1月UN現場の笑いと汗を中心とした、ニュースレター「銀の汗」がスタートしました。20号を過ぎるあたりから、リピーターのお客様から「レターいつもみてるよ」と現場で声をかけて頂く機会が増え号を重ねるほどに オペレーター品質が良くなってきました。2015年1月「UN全国制覇」の目標を掲げ、将来必ず全国にUNマシンが増えOPが先生として教えに行く時代が来ると、7の段掛算が弱いOPに話した。疑心暗鬼のシチシチ48OPの腫が30号を過ぎたあたりから輝きを増していった。そしてUNマシンを我が地域で活用したいと九州から声があがり、同時期に東京の施工店様からも小型化圧送プロジェクトが立ち上がり、UNマシン開発者が再び必死に2台を完成させた。現在、淘汰・洗練された頭筋肉・足が臭い・歯茎から血が出る、やや・加齢臭UN四天王(松田・石川・曾根・江縫)OP達が各所に教えに行くようになりました。我々には明確に見えた！登るべきUN道が本日より、頂きに向い登攀を開始致します



産廃三銃士 空ドラム回収はお任せ下さい

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました

ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

www.un-machine.com

UN四天王 形は古いがいしけには強い

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

UNマシンにて検索

【sweat of silver】

銀の汗、5年間の、ご支援ご声援誠にありがとうございました。

推進部の進むべき道も明確に見えました。そして各所に圧送の仲間が増えてきました。一旦60号を契機に筆を置かせて頂き銀の汗、終了させて頂きます。いつかパートX「ワタシ..失敗しないので..」が始まれば、またご支援の程、宜しく願い致します。レターをわざわざファイリングして頂いているお客様、今回のネタはイマイチと厳しくチェック頂くお客様、いいですね〜このギャグと喜んで頂くお客様、毎回ハードルの高さを感じつつも、時には脳にも汗をかき、解らない方はそのまま置き去りのディープなネタで勝負した事も多々ございます。

ただそれを支えていたのは、普通の人なら一日で握力が無くなる、一人で毎日20㎡手で産廃を積み込む男達・夏場のマシン近くは体感60度を超えるオペレーティングをする男達 また朝5:30分センターを空けてマイナス3度の気温の中荷出しの準備をする男達 そんな、人目につかなくても黙々と仕事に取り組む男達がいるからこそ 銀の汗 が成り立ちました。

第二次長州征伐の折、高杉晋作先生率いる長州船隊1千名に対し幕府軍2万、圧倒的不利な中、奇襲攻撃で幕府軍を蹴散らしていく長州船隊、ユニオン号で応援に駆けつけた坂本龍馬先生、その時、高杉晋作先生は 船頭に立ち 兵士に酒を振舞い

本人は舞を舞っていたそうでございます 「ほんに、面白か指揮をとりよるっちゃ」と、あきれ龍馬先生...

これからも、銀の汗を流す漢達と共に、舞い・舞い・マイム・マイムでダンスしながら前進していきます。

「明日描く絵が、一番素晴らしい」 パプロ・ピカソ

TEL 03-3436-1324

ウレタンは **サラセーナ**

塩ビは **ダイヤフォルテ**